

大河の世界と戦国鳥津

戦国時代を舞台としたドラマは、大河ドラマをはじめ数多く制作され、高い人気を誇ります。トークショーを通して、過去のドラマでの戦国時代の事件や人物の描かれ方を歴史研究者が振り返り、戦国鳥津をドラマや芝居でどのように描くとより魅力的になるかディスカッションすることで、新たな戦国鳥津像を発信します！



鳥津義弘公像
(JR伊集院駅前)

令和5年9月30日(土)

14:30 ~ 16:30
(14:00 開場)

日置市吹上中央公民館

日置市吹上町
中原 2568 番地

■ JR 伊集院駅より車で約 30 分 ■ 指宿スカイライン谷山 IC より車で約 20 分



登壇者

新名 一仁

南九州大学非常勤講師



登壇者

太田 秀春

鹿児島国際大学副学長



登壇者

岩川 拓夫

仙巖園学芸員



スケジュール

14:00	開場
14:30 ~ 14:35	開会のあいさつ
14:35 ~ 14:55	ひおき武将隊演奏
15:00 ~ 16:25	大河の世界と戦国鳥津 トークショー (新名一仁、太田秀春、岩川拓夫)
16:25 ~ 16:30	閉会のあいさつ

入場無料

事前申込不要

〈先着順〉〈自由席〉

主催 三州同盟会議 (始良市・日置市・えびの市・湧水町)

問合せ先 三州同盟会議事務局 (始良市商工観光課) TEL 0995-66-3145

大河の世界と 戦国島津

トークショー 登壇者紹介

新名 一仁 (にいな かずひと)



1971年、宮崎県宮崎市生まれ。南北朝時代から戦国時代にかけての島津氏、南九州政治史を研究。鹿児島大学法文学部人文学科卒業、広島大学大学院文学研究科博士課程後期国史学専攻単位取得退学、博士(文学、東北大学)。著書に、『島津貴久一戦国大名島津氏の誕生』(戎光祥出版)、『島津四兄弟の九州統一戦』(星海社新書)、『「不屈の両殿」島津義久・義弘』(角川新書)、『現代語訳上井覚兼日記』1、2(ヒムカ出版)などがある。

太田 秀春 (おおた ひではる)



1973年、宮城県生まれ。ソウル大学校人文大学院国史学科碩士課程修了(韓国政府招請奨学生)、東北大学大学院国際文化研究科博士課程後期修了。現在、鹿児島国際大学国際文化学部教授。博士(国際文化)。島津氏関連の主な業績として、「島津義弘の朝鮮出兵と異文化認識」(『北海道・鹿児島・沖縄の歴史と経済』日本経済評論社)「朝鮮出兵における島津氏の異国認識」(『中世島津氏研究の最前線』洋泉社)「日本水軍の朝鮮出兵と島津義弘」(『忠武公李舜臣と海洋』海軍士官学校海洋研究所、韓国語)

岩川 拓夫 (いわかわ たくお)



仙巖園文化事業課課長代理

1985年、鹿児島生まれ。大阪大学大学院修了後、尚古集成館学芸員や日置市教育委員会学芸員を経て、仙巖園で学芸員をつとめる。

南日本新聞で2019年から今年まで「かごしま戦国絵巻」を連載。県内外の歴史イベントのコーディネーターをおこなう。

三州同盟会議のコーディネーターを兼ねる。